

北陸新幹線等の整備について

【担当省庁：国土交通省】

1 北陸新幹線の全線整備の早期実現

大阪までの全線整備を早期に実現していただきたい。

2 着工に向けた諸問題への適切な対応

- **駅・ルート**の公表に向けた詳細な調査において、文化財の集積、豊かな地下水脈、広大な原生林といった京都の地勢を鑑み、
 - ①自然環境や生活環境の問題、
 - ②河川、鉄道、高速道路との交差、
 - ③山岳部のトンネル工事、
 - ④都市部での地下工事等
 における技術的な問題等について、慎重な調査と十分な地元説明を実施されたい。
- ルート決定の根拠となるB/Cの計算について、国は利用者便益で算出しているが、その基礎となる旅客流動数は北陸方面と大阪・中京方面間の利用者の割合が高いことから、このような実態を踏まえ、利用者便益に応じた負担としていただきたい。
 また、府域の施工区間は、長大トンネル、大深度地下工事等、工費が膨らむと予想されるため、コスト縮減や十分な財政支援を実施されたい。
- 併せて、関西文化学術研究都市とのアクセス路線となるJR片町線(松井山手～木津)の複線化等、速達性の向上が実現するよう協力していただきたい。

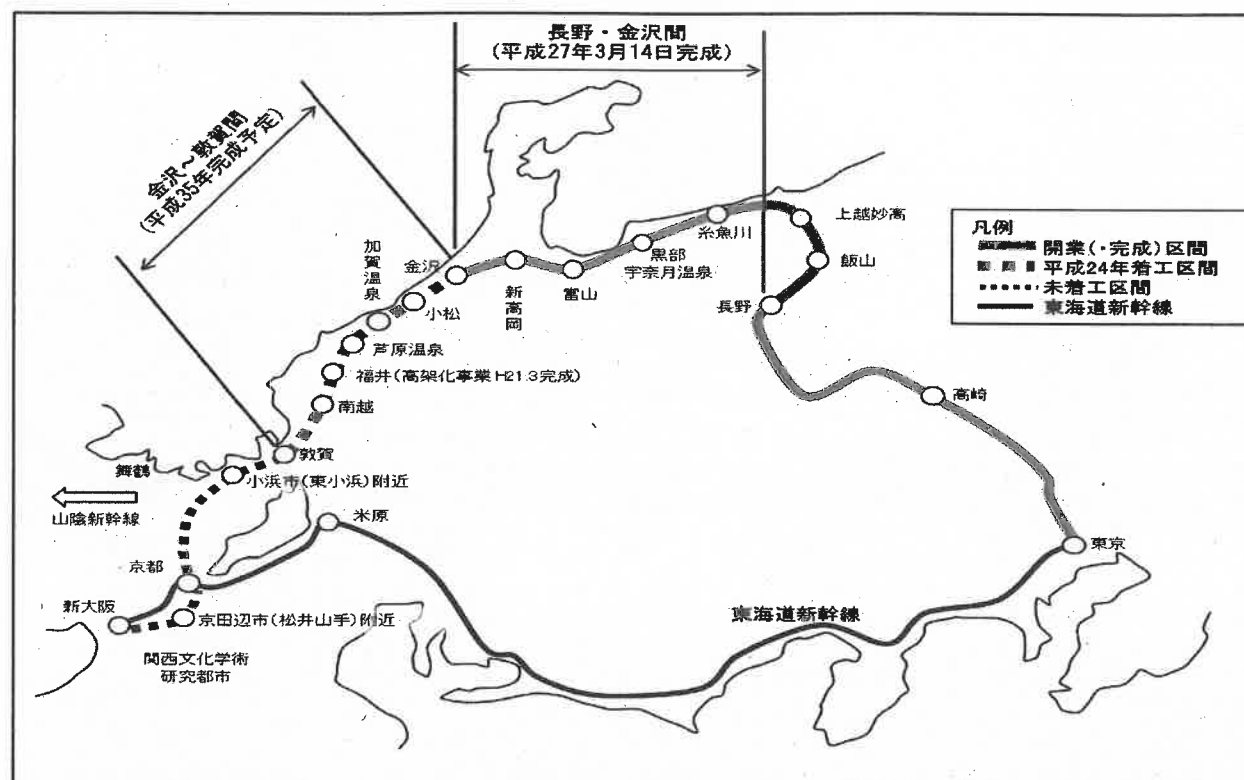
3 日本海国土軸の形成に向けた山陰新幹線の整備

国の「幹線鉄道ネットワーク等のあり方に関する調査」を確実に実施するとともに、以下の観点で北部地域の広域幹線鉄道のあり方が検討されるよう、適切に対応していただきたい。

- 北部地域における日本海国土軸形成に資する舞鶴を経て日本海に至る山陰新幹線も含めた鉄道ネットワークを強化すること。

京都府の担当課	建設交通部 交通政策課(075-414-4360)
---------	---------------------------

北陸新幹線の現状計画図



新幹線整備に係る地方負担(現行制度)

貸付料	国 2	地方 1
		一般単独事業 90%
		財
		※元利償還の50～70%に交付税措置

利用者便益の基礎とな北陸3県及び新潟県、長野県と下記方面との旅客流動数 (千人/年)

	中京方面	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	中国方面	四国地方	九州地方
流動数	1995	228	1484	2591	653	257	18	420	102	296
割合	24.8%	2.8%	18.4%	32.2%	8.1%	3.2%	0.2%	5.2%	1.3%	3.7%

※第5回(2010年)全国幹線旅客流動調査

JR片町線の現状

